

教科	科目	学年・課程	単位数
国語	現代文B	3年 普通科・ライフデザイン科	2
学習の目標			
1 近代以降の文章について、読解・鑑賞の方法を習得し、ものの見方・考え方を深めること、また、自分の考えをまとめて適切に表現する能力（「書く」・「話す」）を身に付けることが目標です。 2 2年次の現代文で培った「読む」力・「書く」力を、自分に必要な具体的な“生きる力”に高めていきます。			
学習の内容			
評論・小説・随想・韻文の4つのジャンルについて、近・現代を代表する筆者（作者）の作品を読み、現代文へのアプローチの仕方や読み解き方を学びます。理解や表現に必要な、基礎的な語彙力を充実させることに力点をおいて学習します。 現代社会や人間の普遍的な問題について、自分の日常や将来の生き方に結びつけて考える取組を実践していきます。基礎的語彙を適切に組み合わせて使えるか、などの実践力・応用力の養成に力点をおきます。 学習予定作品は、随想「食と想像力」 小説「話を聞かせて」 評論「記憶のゆがみ」「物語を発現する力」 詩「食事」 評論「鏡としての他者」「僕らの時代のメディア・リテラシー」 小説「卒業」 短歌と俳句「折々のうた」 評論「経験の教えについて」 小説「山月記」です。			
評価の観点			
1 関心・意欲・態度 国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとしているかを評価します。 2 話す・聞く能力 目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めているかを評価します。 3 書く能力 相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めているかを評価します。 4 読む能力 文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させているかを評価します。 5 知識・理解 伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けているかを評価します。			
評価の方法			
1 上記の5つの評価の観点から総合的に評価します。 2 考査、授業ノート、提出物、小テスト、授業・課題への取組など、全ての学習活動を評価の対象とします。			
その他			
「読む」「書く」「話す」「聞く」能力は、我々の生活や自己実現にとって欠かせない、基本的な能力であり、その根本は、すでに家庭生活や義務教育の中で育まれているでしょう。 我々の生きる社会は日々多様化し複雑さを増しています。特に、21世紀を担う生徒諸君は、世界中の（宗教や歴史政治信条の異なる）人々と対話していかなければなりません。立場や意見を異にする人々ともスムーズに意思疎通でき、さらに、深く豊かな情操を感得し、普遍的な人間性に思いを致すことが、混迷する現代を生き抜く力を支えるものと信じます。 それには、まず、基礎的語彙が身に付くまで、何度も何度も繰り返し読み書くことです。そして、文章を声に出して読んでみてください。また、学習は目と頭だけではありません。五感をフルに活用して、楽しく取り組みましょう。国語力は読書量に比例するとも言われています。本校では、『朝の読書』に取り組んでいます。これをよい機会として、本に親しんでください。 授業で分からないことがあったら、すぐに質問しましょう。			

教科	科目	学年・課程	単位数
国語	古典B	3年普通科Ⅱ・Ⅲ類型	2
学習の目標			
1 古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典に親しむことによって人生を豊かにする態度を養います。 2 進路目標に応じた古典の学力を身に付けることも目標とします。			
学習の内容			
1 古文編 古文を読むことに必要な基礎知識（古典文法や古文単語など）を身に付けながら、内容を把握した上で、筆者の考えや登場人物の心情などを理解し、表現方法の特色などにも注目して、作品を読み味わうことを目標に学習します。 学習予定作品は 随筆：「枕草子」 物語（一）：「伊勢物語」 歴史物語：「大鏡」 歌話：「古今著聞集」「無名抄」 物語（二）：「源氏物語」 小説：「世間胸算用」です。 2 漢文編 漢文を読むことに必要な基礎知識（訓点・語法・漢詩のきまりなど）を身に付けながら、内容を把握した上で、筆者の考えや心情、登場人物の人物像などを理解し、表現方法の特色などにも注目して、作品を読み味わうことを目標に学習します。 学習予定作品は 小話：「鼓腹撃壤」「燕雀安知鴻鵠之志哉」 古詩：「飲酒」「子夜吳歌」 史話：「刎頸之交」 中国の思想：「不忍人之心」「人之性惡」です。			
評価の観点			
1 関心・意欲・態度 国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとしているかを評価します。 2 話す・聞く能力 目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めているかを評価します。 3 読む能力 文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させているかを評価します。 4 知識・理解 伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けているかを評価します。			
評価の方法			
1 上記の5つの評価の観点から総合的に評価します。 2 考査、授業ノート、提出物、小テスト、授業・課題への取組など、全ての学習活動を評価の対象とします。			
その他			
古典の学力は家庭での予習に比例すると言われています。家庭での学習時間をしっかり確保して、授業に臨むように心がけて下さい。辞書は必需品です。古語辞典を必ず用意しましょう。また、教材を必ず音読することが大切です。 授業でわからないことがあったら、すぐに質問をしましょう。			

教科	科目	学年・課程	単位数
国語	国語探究	3年普通科Ⅱ類型	2
学習の目標			
1 近代以降の文章を読むことを通して、文章を解釈する基礎的な力を身に付け、自らの人生を豊かにする思考力を養います。 2 進路目標に応じた表現力を身に付けることも目標とします。			
学習の内容			
1 論理的な文章 (1) 解釈の基本 正しい言葉のとらえ方を意識しながら、文章全体の意味を把握するための基礎力を養います。語彙を増やすことにも取り組みます。 (2) 論の重点について 論理的な文章を読み解くために、具体的な技術を身に付けます。筆者が述べようとしている内容について文章に即して考えていきます。 (3) 論の構成について 筆者が主張する論旨を明確に伝えるために、文章の中にどのような工夫を凝らしているかを読解していきます。筆者の意見を正しく把握した上で、自分自身の考えも文章にできるように演習していきます。 2 文学的な文章 (1) 解釈の基本 主人公の人物像を本文に即して正しくとらえ、その上で文章の主題を考えていきます。文学的な文章を正しくつかむ基礎力を養います。 (2) 登場人物について 登場人物の読み解き方を学びます。さまざまな人間像に触れて、自らの人生を豊かにすることも目的としています。 (3) 構成・表現について 語句・文章の構成を正しくとらえた上で、文学的文章を読み味わうことを学びます。			
評価の観点			
1 関心・意欲・態度 国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとしているかを評価します。 2 話す・聞く能力 目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めているかを評価します。 3 書く能力 相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めているかを評価します。 4 読む能力 文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させているかを評価します。 5 知識・理解 伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けているかを評価します。			
評価の方法			
1 上記の5つの評価の観点から総合的に評価します。 2 考査、授業ノート、提出物、小テスト、授業・課題への取組など、全ての学習活動を評価の対象とします。			
その他			
授業で分からないことがあったら、すぐに質問しましょう。			

教科	科 目	学年・課程	単位数
地理歴史	日本史B	3年普通科Ⅱ類型	4
学習の目標			
1 我が国の歴史の展開を資料に基づいて地理的条件や世界の歴史と関連づけて総合的に学び、歴史的思考力を身に付けることを目指します。 2 進学目的に応じた日本史の学力を身に付けることも目標とします。			
学習の内容			
【第3部】 近世 織豊政権や幕藩体制の特色と推移、社会・文化の動向について、鎖国などの国際関係の変化とその影響にも触れながら学習します。 【第4部】 近代・現代 開国・新政府の成立からの近代日本の歩みについて、外国との関わりに触れながら学習します。また、二つの世界大戦が日本にどのような影響を与えたのかということを戦後世界の動向と関連づけながら学習します。			
評価の観点			
1 関心・意欲・態度 歴史的な事物・事項に関心や探求心を持ち、意欲的にそれらに取り組んでいるか、また、積極的な授業態度が身に付いているかを評価します。 2 思考・判断・表現 古代から現代までの歴史を地理的な条件や世界の歴史との関連も踏まえて、歴史的な観点から考えることができるか、またそれらの思考をもとに自分なりに日本史に対する内容の研究・分析を行い、表現できるかを評価します。 3 資料活用の技能 史料や地図、写真・絵画資料などを活用する技能が習得できたかを評価します。 4 知識・理解 歴史の流れを正確にとらえ、歴史的な事物・事項に対する基本的な内容を理解し、知識が身に付いているかを評価します。			
評価の方法			
1 関心・意欲・態度 … 授業態度・提出物などをもとに評価します。 2 思考・判断・表現 … 定期考査の結果や、授業中に行う作業学習などをもとに評価します。 3 資料活用の技能 … 授業中に行う作業学習などをもとに評価します。 4 知識・理解 … 定期考査の結果をもとに評価します。			

教科	科 目	学年・課程	単位数
地理歴史	日本史探究	3年普通科Ⅱ類型	2
学習の目標			
1 我が国の歴史の展開を史料に基づいて総合的に学び、歴史的思考力を身に付けることを目指します。 2 進学目的に応じた日本史の学力を身に付けることも目標とします。			
学習の内容			
【第1部】 原始・古代 律令国家の形成から武家政権成立までの流れを、中国・朝鮮半島などの史料に基づき、それら東アジア諸国との交流を通して学習します。 【第2部】 中世 武家政権の成立から戦国時代に至る武家社会の進展や文化の展開について、東アジア諸国に残る史料や、我が国に残る様々な史料を通して学習します。 【第3部】 近世 織豊政権や幕藩体制の特色と推移、社会・文化の動向について、史料に基づき学習します。 【第4部】 近代・現代 開国・新政府の成立からの近代日本の歩みについて、史料を基にして外国との関わりに触れながら学習します。また、二つの世界大戦が日本にどのような影響を与えたのかということを戦後世界の動向と関連付けながら学習します。			
評価の観点			
1 関心・意欲・態度 歴史的な事物・事項に関心や探求心を持ち、意欲的にそれらに取り組んでいるか、また、積極的な授業態度が身に付いているかを評価します。 2 思考・判断・表現 古代から現代までの歴史を地理的な条件や世界の歴史との関連も踏まえて、歴史的な観点から考えることができるか、またそれらの思考をもとに自分なりに日本史に対する内容の研究・分析を行い、表現できるかを評価します。 3 資料活用の技能 史料や地図、写真・絵画資料などを活用する技能が習得できたかを評価します。 4 知識・理解 歴史の流れを正確にとらえ、歴史的な事物・事項に対する基本的な内容を理解し、知識が身に付いているかを評価します。			
評価の方法			
1 関心・意欲・態度 … 授業態度・提出物などをもとに評価します。 2 思考・判断・表現 … 定期考査の結果や、授業中に行う作業学習などをもとに評価します。 3 資料活用の技能 … 授業中に行う作業学習などをもとに評価します。 4 知識・理解 … 定期考査の結果をもとに評価します。			

教科	科 目	学年・課程	単位数
公民	政治・経済	3年普通科Ⅰ・Ⅱ類型・ライフデザイン科	2
学習の目標			
1 現代社会の学習を基礎として、さらに民主主義の本質についての理解力を身に付けることを目指します。 2 政治・経済に関する諸課題に対する多様な見方・考え方を学び、その解決に向けて主体的に考える態度を養うことを目指します。			
学習の内容			
【第1編】 現代の政治 第1章で民主政治の基本原則と日本国憲法を、第2章で現代の国際政治と日本の現状を学習します。また、私たちの一生は、どのようなしくみの中で政治と関わっているのかを考えていきます。			
【第2編】 現代の経済 第1章で現代経済のしくみと特質を、第2章で国民経済と国際経済を学習します。また、雇用や賃金のしくみが増加して行く中で、豊かな人生を送る術を考えていきます。			
【第3編】 現代社会の諸課題 第1章で現代日本の政治や経済の諸課題を、第2章で国際社会の政治や経済の諸課題を学習します。現代の社会で解決しなければならない課題（少子高齢化問題・食糧問題・公害問題など）を、政治と経済を結び付けて考えていきます。			
評価の観点			
1 関心・意欲・態度 政治・経済に関する出来事に興味・関心や探求心を持ち、意欲的にそれらに取り組んでいるか、また積極的な授業態度が身に付いているかを評価します。			
2 思考・判断・表現 日本という国が現在どのような立場に置かれているのかという現状を把握するとともに、身近な地域社会で自分は何ができるのかということが考察できているか、さらにその考察に対する内容の研究・分析を行い、それらを理解し表現できるかを評価します。			
3 資料活用の技能 統計資料を読み解く力を身に付けているかを評価します。			
4 知識・理解 政治・経済に関する基本的な内容を理解するとともに、さらに実生活に役立つ知識を身に付けているかを評価します。			
評価の方法			
1 関心・意欲・態度 … 授業態度・提出物などをもとに評価します。 2 思考・判断・表現 … 定期考査の結果や、授業中に行う作業学習などをもとに評価します。 3 資料活用の技能 … 授業中に行う作業学習などをもとに評価します。 4 知識・理解 … 定期考査の結果をもとに評価します。			

教科	科目	学年・課程	単位数
数 学	数学研究 A	3 年普通科Ⅱ類型	3
学習の目標			
1 方程式と不等式 数の拡張の意義を理解し、式の見方を豊かにし、1次方程式・1次不等式及び2次方程式についての理解を深め、それらを活用できるようにします。 2 2次関数 関数の意味について理解を深めるとともに、関数の最大値・最小値を求めることや2次不等式の解を求めることができるようにします。 3 図形と計量 正弦、余弦及び正接の意味や正弦定理・余弦定理を理解し、平面図形や空間図形の計量などに活用できるようにします。 4 場合の数と確率 集合と要素の個数、場合の数、確率について理解を深め、それらを活用できるようにします。 5 平面図形 三角形の性質、円の性質について理解を深めます。			
学習の内容			
1 方程式と不等式 式の計算、実数、方程式と不等式について学習します。 2 2次関数 2次関数とグラフ、2次関数の値の変化、2次不等式について学習します。 3 図形と計量 三角比、正弦定理と余弦定理、図形の計量について学習します。 4 場合の数と確率 集合と要素の個数、場合の数、確率について学習します。 5 平面図形 三角形の性質、円の性質について学習します。			
評価の観点			
1 関心・意欲・態度 方程式と不等式、2次関数及び図形と計量における考え方に関心をもっているか、また、意欲的に課題に取り組むとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを身近な事象の考察に活用しようとする態度を身に付けているかを評価します。 2 数学的な見方や考え方 方程式と不等式、2次関数及び図形と計量における数学的な見方や考え方を見いだそうとしているか、また、見いだした数学的な見方や考え方をもとに事象をとらえ、論理的に考えるとともに思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えているかを評価します。 3 数学的な技能 方程式と不等式、2次関数及び図形の計量において、事象を数学的に考察して適切な計算方法やグラフを用いて処理できているか、事象を表現し処理する仕方や推論の方法を身に付け、的確に問題を解決できているかを評価します。 4 知識・理解 方程式と方程式、2次関数及び図形と計量における基本的な概念、原理、法則、用語記号などを理解し、基本的な知識を身に付けているかを評価します。			
評価の方法			
1 上記の4つの評価の観点から総合的に評価します。 2 考査・授業ノート・提出物・小テスト・授業での応答など、全ての学習活動を評価の対象とします。			

教 科	科 目	学 年 ・ 課 程	単位数
数 学	数学探究Ⅰ	3年普通科Ⅱ類型	3
学習の目標			
1 方程式と不等式 数の拡張の意義を理解し、式の見方を豊かにするとともに、1次方程式・1次不等式及び2次方程式についての理解を深め、それらを活用できるようにします。 2 2次関数 関数の意味について理解を深めるとともに、関数の最大値・最小値を求めることや2次不等式の解を求めることができるようにします。 3 図形と計量 正弦、余弦及び正接の意味や正弦定理・余弦定理を理解し、平面図形や空間図形の計量などに活用できるようにします。 4 場合の数と確率 集合と要素の個数、場合の数、確率について理解を深め、それらを活用できるようにします。 5 平面図形 三角形の性質、円の性質について理解を深めます。			
学習の内容			
1 方程式と不等式 式の計算、実数、方程式と不等式について学習します。 2 2次関数 2次関数とグラフ、2次関数の値の変化、2次不等式について学習します。 3 図形と計量 三角比、正弦定理と余弦定理、図形の計量について学習します。 4 場合の数と確率 集合と要素の個数、場合の数、確率について学習します。 5 平面図形 三角形の性質、円の性質について学習します。			
評価の観点			
1 関心・意欲・態度 方程式と不等式、2次関数及び図形と計量における考え方に関心をもっているか、また、意欲的に課題に取り組むとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを身近な事象の考察に活用しようとする態度を身に付けているかを評価します。 2 数学的な見方や考え方 方程式と不等式、2次関数及び図形と計量における数学的な見方や考え方を見いだそうとしているか、また、見いだした数学的な見方や考え方をもとに事象をとらえ、論理的に考えるとともに思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えているかを評価します。 3 数学的な技能 方程式と不等式、2次関数及び図形の計量において、事象を数学的に考察して適切な計算方法やグラフを用いて処理できているか、事象を表現し処理する仕方や推論の方法を身に付け、的確に問題を解決できているかを評価します。 4 知識・理解 方程式と不等式、2次関数及び図形と計量における基本的な概念、原理、法則、用語記号などを理解し、基本的な知識を身に付けているかを評価します。			
評価の方法			
1 上記の4つの評価の観点から総合的に評価します。 2 考査・授業ノート・提出物・小テスト・授業での応答など、全ての学習活動を評価の対象とします。			

教科	科目	学年・課程	単位数
理科	化学基礎	2年普通科Ⅱ類型 3年普通科Ⅰ・Ⅱ類型、ライフデザイン科	2
学習の目標			
1 日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養うことを目指します。 2 進路目標に応じた理数系の能力を身に付けることを目指します。			
学習の内容			
1 物質の成り立ち 物質の探究、物質の構成粒子、物質と化学結合について学び、基本的な原子、分子、イオンの概念を整理して内容を深化させます。化学と人間生活に関連して、文明の中で変遷してきた金属やプラスチックの概要を学びます。 2 物質の変化 基本となるモルの概念、酸と塩基、酸化・還元の項目について学習し、発展的な河川水の汚染状況の調査や備長炭電池などエネルギーや電気分解について探究します。化学と人間生活に関連して、食品添加物、洗剤、農薬、セラミックスなど具体的な物質を学習し、理解を深めていきます。			
評価の観点			
1 関心・意欲・態度 化学的な事物・現象に関心を持ち、意欲的に探究して化学的なものの見方を身に付けているかを評価します。 2 思考・判断・表現 化学的な事物・現象の中に問題を見だし、観察・実験などを行うとともに、実証的・論理的に考えたり、分析的・総合的に考察し、事実に基づいて導き出した考えを表現できるかを評価します。 3 観察・実験の技能 化学的な事物・現象に関する観察実験の技能を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理できるかを評価します。 4 知識・理解 観察・実験などを通して、化学的な事物・現象についての基本的な概念や原理や法則を理解し、知識を身に付けているかを評価します。			
評価の方法			
1 評価の内訳は、「関心・意欲・態度」20%、「思考・判断・表現」30%、「観察・実験の技能」20%、「知識・理解」30%です。 2 定期考査、授業中の学習の様子、観察実験の技能、課題の提出状況などをもとに評価を行います。			
その他			
○化学の実験では、薬品を使用しますので、先生の指示に従って安全に実験してください。 ○夏休み等の長期休業前にサイエンス関連の催しものを紹介するので、希望者は積極的に参加して学習を行ってください。 ○授業でわからないことがあったら、理科の先生へすぐ質問しましょう。			

教科	科目	学年・課程	単位数
理科	生物基礎	2年普通科Ⅰ・Ⅱ類型、ライフデザイン科 3年普通科Ⅱ類型	2
学習の目標			
1 生物や生命現象についての観察、実験などを行い、自然に対する関心や探究心を高めます。 2 生物学的に探究する能力や態度を身に付けながら、基本的な概念や原理・法則を理解して科学的な自然観を身に付けることを目指します。			
学習の内容			
1 生物と遺伝子 生物が細胞からできていること、細胞内の小器官の働き、DNAの構造、細胞分裂との関係、また遺伝情報からタンパク質を合成する仕組みについて詳しく学びます。 2 生物の体内環境の維持 心臓と血液の循環、自律神経系、内分泌系、免疫について学びます。 3 生物の多様性と生態系 植生の遷移や、分布、バイオームについて学びます。特に生態系とその保全について詳しく学びます。			
評価の観点			
1 関心・意欲・態度 生物的な事物・現象に関心や探求心を持ち、意欲的にそれらを探究するとともに、生物学的なものの見方を身に付けているか評価します。 2 思考・判断・表現 生物的な事物・現象の中に問題を見だし、観察・実験などを行うとともに、実証的・論理的に考えたり、分析的・総合的に考察し、事実に基づいて導き出した考えを表現できるかを評価します。 3 観察・実験の技能 生物的な事物・現象に関する観察実験の技能を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理できるかを評価します。 4 知識・理解 観察・実験などを通して、生物的な事物・現象についての基本的な概念や原理や法則を理解し、知識を身に付けているかを評価します。			
評価の方法			
1 評価の内訳は、「関心・意欲・態度」20%、「思考・判断」30%、「観察・実験の技能・表現」20%、「知識・理解」30%です。 2 定期考査、授業中の学習の様子、観察・実験の技能、課題の提出状況などをもとに評価を行います。			
その他			
○生物の実験では、薬品を使用しますので、先生の指示に従って安全に実験してください。 ○授業でわからないことがあったら、理科の先生へすぐ質問しましょう。			

教 科	科 目	学 年・課 程	単位数
理 科	地学基礎	2年 普通科Ⅱ類型 3年 普通科Ⅱ類型	2
学習の目標			
1 地学や地球科学現象についての観察、実習などを行い、自然に対する関心や探究心を高めます。 2 地学的に探究する能力や態度を身に付けながら、基本的な概念や原理・法則を理解して科学的な自然観を身に付けることを目指します。			
学習の内容			
1 地球の構成と運動 プレートテクトニクス、火山活動、地震など地球科学と防災について詳しく学びます。 2 地球の変遷 地層、地質年代を考察して考古学の初歩についても触れます。 3 大気と海洋 地球の熱収支、大気と海洋の運動など気象学についても考察します。 4 太陽系と宇宙 宇宙観、太陽系、銀河の分布など天文学の基礎を学びます。 5 地球の環境 地球環境科学について、世界各地の環境問題を考察します。			
評価の観点			
1 関心・意欲・態度 地学的な事物・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的なものの見方を身に付けているか評価します。 2 思考・判断・表現 地学的な事物・現象の中に問題を見だし、観察・実験などを行うとともに、実証的・論理的に考えたり、分析的・総合的に考察したりして、事実に基づいて導き出した考えを表現できるかを評価します。 3 観察・実習の技能 地学的な事物・現象に関する観察実習の技能を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理できるかを評価します。 4 知識・理解 観察・実習などを通して、地学的な事物・現象についての基本的な概念や原理や法則を理解し、知識を身に付けているかを評価します。			
評価の方法			
1 評価の内訳は、「関心・意欲・態度」20%、「思考・判断・表現」30%、「観察・実験の技能」20%、「知識・理解」30%です。 2 定期考査、授業中の学習の様子、観察・実験の技能、課題の提出状況などをもとに評価を行います。			
その他			
○地学基礎の実験・実習では、薬品を使用しますので、先生の指示に従って安全に実験・実習してください。 ○授業でわからないことがあったら、理科の先生へすぐ質問しましょう。			

教科	科目	学年・課程	単位数
保健体育	体育	3年普通科Ⅰ類型・Ⅱ類型	3
学習の目標			
各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。			
学習の内容			
体づくり運動では、自己の体力や生活に応じて、体の調子を整えるなどの体ほぐしの運動を行います。特に体力を高める運動を行い、体力の増進を目指します。体づくりでは運動実施後の達成感や充実感が得られるよう、内容を精選しコミュニケーションや人とのふれあい、言語活動能力を養っていきます。 球技では、年間の気候を考慮した授業を計画します。ネット型(バレーボール・バドミントン・テニス・卓球) ベースボール型(ソフトボール) ゴール型(サッカー・バスケットボール)から選択し、ボールを用いて、集団的技能や個人的技能を発揮し、攻撃と防御を展開し、勝敗を争うことの中から、作戦をたてたり、工夫をしたりすることの楽しさを味わいます。 陸上競技では、学校外のコースを自分の能力に応じたペースで走ったり、記録に挑戦したりして、自己の課題を克服する気持ちを育てます。 体育理論ではスポーツのルールはもちろんのこと運動の大切さやメカニズムについて理解させ、生涯を通じて運動を実践できる能力や態度を養っていきます。 ダンスではフォークダンスをみんなで踊ったり、創作したりすることにより、リズムに乗って体を動かすことの楽しさを味わうとともに、自他の良さを認め合うことの大切さを育てます。			
評価の観点			
- 関心・意欲・態度 運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるように自ら進んで計画的に運動しようをしているか評価します。 公正・協力・責任などの社会的態度が身に付いているか評価します。 健康や安全に留意して運動しようとしているか評価します。 - 思考・判断 自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題を見つけだしているか評価します。 課題の解決を目指して、活動の仕方を考え工夫しているか評価します。 - 運動の技能 己の能力と運動の特性に応じた課題を目指して運動を行い技能を高めているか評価します。 自己の体力や生活に応じて体力を高めるための運動の合理的な行い方を身につけているか評価します。 - 知識・理解 社会の変化とスポーツ、運動技能の構造と運動の学び方、体ほぐしの意義と体力の高め方に関する基礎的な事項を理解し身につけているか評価します。			
評価の方法			
- 各運動種目とも、スキルテスト・グループノート等を利用して評価します。 特に集団競技においてはグループでのミーティング・グループ練習での活動を大切にし、ゲーム終了後にチームの問題点をフィードバックして修正する時間を与え、活動の様子も評価します。 - 各運動種目とも、「関心・意欲・態度 20%」「思考・判断 20%」「運動の技能 40%」「知識・理解 20%」で評価します。			

教科	科目	学年・課程	単位数
芸術	美術探究	3年 普通科 II類型	2
学習の目標			
1 美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情と美術文化を尊重する態度を養うことを目指します。 2 感性と美意識を磨き、専門的で個性豊かな美術の能力を高めることを目標とします。			
学習の内容			
1 絵画・彫刻 独創的な主題を生成し、表現の構想を練る力を養うとともに、画材の特性を生かした表現技術について理解を深めます。 2 デザイン デザイン効果を考えて目的に応じた主題を生成し、表現の構想を練る力を養うとともに、表現方法を工夫し、個性を生かした創造的な表現を追及します。 3 映像メディア表現 映像メディアの特性を生かして独創的な主題を生成し、表現の構想を練る力を養います。また、映像メディアの表現方法について理解を深め、個性を生かした創造的な表現の工夫を追及します。 4 鑑賞 作者の主張、作品と時代や社会とのかかわりなどを考察し、自己の価値観や美意識を働かせて作品を読み取り味わいます。また、国際理解に果たす美術の役割について理解するとともに、文化遺産としての美術の特色と文化遺産等を継承し保存することの意義について理解を深めます。			
評価の観点			
1 関心・意欲・態度 美術を愛好し、表現の主題や形式などに幅広く関心をもち、意欲的、主体的に表現や鑑賞の活動を行い、その喜びを味わおうとしているか評価します。 2 発想や構想 感性を働かせて美術のよさや美しさを感じ取り、豊かに発想し創造的に表現を工夫しているかを評価します。 3 表現の技能 創造的な表現をするために材料・用具を生かして表現する技能を身に付けているかを評価します。 4 鑑賞の能力 作者の心情や意図と表現の工夫、生活や自然と美術との関連、日本の美術の歴史などを理解し、そのよさを創造的に味わおうとしているかを評価します。			
評価の方法			
1 各学期の評点は、各活動への取組と、授業内で制作した作品を考慮して評価します。 2 関心・意欲・態度 25%、発想や構想 25%、創造的な技能 35%、鑑賞の能力 15%を基準として評価します。			
その他			
制作に関して分からないことや疑問があれば、積極的に質問して下さい。			

教科	科目	学年・課程	単位数
外国語	コミュニケーション英語Ⅲ	3年普通科Ⅱ・Ⅲ類型	4
学習の目標			
1 英文を読んだり聞いたりして、情報や考えを理解できるようになることを目指します。 2 聞き手に伝わるように英語で書いたり話したりして表現できるようになることを目指します。 3 学んだことに基づき、英語で書いたり話し合ったりして意見の交換ができるようになることを目指します。			
Lesson 1 The History of Ekiben Lesson 2 Three Trips for Maintaining a Conversation Lesson 3 Do you Judge People by Their Blood Type? Lesson 4 My Opinion of Zoos Lesson 5 The 55-Year Race Lesson 6 After the Flowers Lesson 7 Online Word-of-Mouth Lesson 8 Kintsugi Lesson 9 Alfred Nobel: A Person of Peace Lesson 10 Art on Display Lesson 11 Keys to Winning Lesson 12 She Sells Seashells by the Seashore Lesson 13 A New Orchestra and a New Harmony Lesson 14 Swimmer for Speed Lesson 15 The Immortal Jellyfish Lesson 16 Antarctica by Cruise Ship Lesson 17 The Shoe That Grows Lesson 18 Let's Try English Presentations! Lesson 19 Bottled Water? No Water? Lesson 20 Endangered Languages Lesson 21 Left in Space Lesson 22 (タイトルなし) Lesson 23 (タイトルなし) Lesson 24 (タイトルなし) Lesson 25 (タイトルなし)			
評価の観点			
1 コミュニケーションへの関心・意欲・態度 コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを評価します。 2 外国語表現の能力 学習したことや与えられた話題について、英語で話したり書いたりして表現できているかを評価します。 3 外国語理解の能力 英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなど相手が伝えようとすることを理解しているかを評価します。 4 言語や文化についての知識・理解 言語やその運用についての知識を身に付けるとともにその背景にある文化などを理解しているかを評価します。			
評価の方法			
1 各学期の評価は、コミュニケーションへの関心・意欲・態度、外国語表現の能力、外国語理解の能力、言語や文化についての知識・理解を総合的に評価します。 2 授業での小テストや課題への取組、提出物、授業態度なども評価の対象とします。 3 長期休業中の課題および実力テストの結果も評価の対象とします。			

教科	科目	学年・課程	単位数
外国語	英語表現Ⅱ	3年普通科Ⅱ・Ⅲ類型	2
学習の目標			
1 学んだことに基づき、情報や考えなどをまとめて発表できるようになることを目指します。 2 情報や考えが相手に適切に伝わるように書くことができるようになることを目指します。 3 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ることができるようになることを目指します。			
学習の内容			
Part2 パラグラフを書く Lesson1 ロボットの有用性（パラグラフの構成/列挙・順序） Lesson2 英語を学ぶ意義（例示・追加） Lesson3 都会と田舎（比較・対照） Lesson4 若者の本離れ（原因・理由・結果） Lesson5 ベジタリアン（要点・要約） Part3 英語で発信する Lesson1 プレゼンテーション Lesson2 ディスカッション Lesson3 ディベート			
評価の観点			
1 コミュニケーションへの関心・意欲・態度 コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを評価します。 2 外国語表現の能力 学習したことや与えられた話題について、英語で話したり書いたりして表現できているかを評価します。 3 外国語理解の能力 英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなど相手が伝えようとすることを理解しているかを評価します。 4 言語や文化についての知識・理解 言語やその運用についての知識を身に付け、その背景にある文化などを理解しているかを評価します。			
評価の方法			
1 各学期の評価は、コミュニケーションへの関心・意欲・態度、外国語表現の能力、外国語理解の能力、言語や文化についての知識・理解を総合的に評価します。 2 授業での小テストや課題への取組、提出物、授業態度なども評価の対象とします。 3 長期休業中の課題および実力テストの結果も評価の対象とします。			

教科	科目	学年・課程	単位数
外国語	英語研究	3年普通科Ⅱ類型	2
学習の目標			
1 時事的なテーマについて書かれた英文の大意を把握できるようになることを目指します。			
2 テーマに応じた語彙や表現を身に付けることを目指します。			
3 学んだことに基づき、情報や考えなどをまとめて発表できるようになることを目指します。			
学習の内容			
Unit 1 Topic 1 All About the Voice (音楽)			
Topic 2 Avoiding Stereotypes (国際問題)			
Topic 3 The Easy Way to Pay (発展途上国)			
Unit 2 Topic 4 The Love of Books (文化)			
Topic 5 The New President (政治)			
Topic 6 One Soup, One Dish (生活)			
Unit 3 Topic 7 The Brexit Problem (経済)			
Topic 8 Virtual Reality (科学技術)			
Topic 9 Protecting the Ecosystem (自然)			
Unit 4 Topic 10 Artificial Intelligence (IT)			
Topic 11 Money for Everyone (社会)			
Topic 12 Climate Change (環境)			
評価の観点			
1 コミュニケーションへの関心・意欲・態度			
コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを評価します。			
2 外国語表現の能力			
学習したことや与えられた話題について、英語で話したり書いたりして表現できているかを評価します。			
3 外国語理解の能力			
英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなど相手が伝えようとすることを理解しているかを評価します。			
4 言語や文化についての知識・理解			
言語やその運用についての知識を身に付けるとともにその背景にある文化などを理解しているかを評価します。			
評価の方法			
1 各学期の評価は、コミュニケーションへの関心・意欲・態度、外国語表現の能力、外国語理解の能力、言語や文化についての知識・理解を総合的に評価します。			
2 授業での小テストや課題への取組、提出物、授業態度なども評価の対象とします。			
3 長期休業中の課題および実力テストの結果も評価の対象とします。			